北海学園大学附属図書館報

図書館だより

1989. 5. 20
第11巻 1 号
通巻109号

Bulletin of the Hokkai Gakuen University Library

ことの葉 彩時記 春

菱川善夫

春風や闘志いだきて丘に立つ　虚子

桜の枝に血がのぼる

桜の枝に血がのぼる ── そのことを私は，染色家の志村ふくみさんの文章で教えられた。桜色を何とか染めの色としてとりだせないか。そう思って桜の花びらを煮つめたのだが，いくら煮つめても桜色をとりだすことができない。だが花の咲く直前の木の枝を煮つめた時，念願の桜色を手にいれることができたという。

花の咲く直前，桜の木の枝は，全身桜色に染まって，切り口から桜の血を流していたのだ。志村ふくみさんは，その血をみごとにひきだしたのである。

そのことを知って以来，私の桜に対する見方がかわった。桜の花にしか目の行かなかった私が，花の咲く前の桜の枝に目をとめるようになった。たしかに，花の咲く直前の木の枝には，桜の血を感じとることができる。

桜だけではない。梅もそうだ。花の咲く前に，まず枝先が紅く色づいてくる。それを見るよろこびは，花を見るよろこびにおとらない。

春は天地の精気がいっせいに動きはじめる季節であるが，枝という枝に，ひしひしと血液がめぐっていることを想像すると，なにやらしめつけられるような感動に見舞われる。

春風や闘志いだきて丘に立つ　虚子

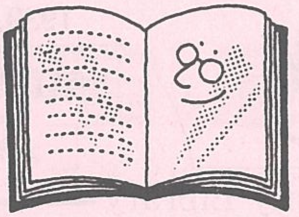
「幕府時代江戸歳事記　3 月向嶋花見の圖」
「風俗画報」（明治22～35年）塙　忠韶編
東陽堂　創刊号　挿図（銅版画）
本学図書館北駕文庫蔵

人間とて同じことである。春風に吹かれていると，おのずと「闘志」がみなぎってくるだろう。「鶏合（とりあはせ）」（闘鶏）や「闘牛」が行われるのも三月で，俳句では，いずれも春の季語となっている。桜の枝に血がのぼる季節は，「闘志」の湧き立つ季節でもあるのだ。

ところで，「志」は「心指し」から来ている。だから心の指す方向が大切だ。「闘志」は，いったい何に対しての「闘志」なのか。大きな世界にむかっての「闘志」でありたいものだ。

ドンコサックの合唱は花ふるごとし
鍬はしずかに大きく振らん　寺山修司

（ひしかわ　よしお　図書館長・教養部教授）



季想点描

斉 藤 和 夫

図書館の仕事 ― 選書システム ―

大学図書館は，大学における教育と研究に必要とされる図書館資料を収集・整理・保存し，これを教職員及び学生に供することによって，大学における教育と研究にサービスすることを目的としております。

本学図書館は，創立百周年記念事業の一環として昭和62年春，本館及び工学部図書館がほぼ同時期に新装開館いたしました。

この２年間の入館利用者数は下表の通りですが，予想数を大きく上回り改めて「図書館」に対する期待と責任の重大さを痛感しております。

	1987年	1988年	増 △減
本　　館	185,254	195,086	9,832
工学部図書館	27,674	45,881	18,207
合　　計	212,928	240,967	28,039

言葉を自由に使いこなす唯一の動物である人間が,文字を発明し,その文字を使って記録を残しました。図書館の歴史は,人間がこの記録を耐久性があり運搬もできる物質に刻んで保存することを必要としたときから始まったといわれております。

バビロニアで発掘されたのは,紀元前3,000年頃の図書館で，多数の文字が刻まれた粘土板を収集していました。その後アレクサンドリアの図書館は，最盛時には70万点のパピルスにかかれた記録や古典を所蔵していたと図書館史にうたわれております。

ギリシャで興隆し，ローマ時代に一時衰えた図書館は，中世になり宗教や大学の附属として再び盛んになってきました。

日本では1872年(明治５年)，学制を発布し国民教育制度を発足させました。この中で『書籍館』(しょじゃくかん＝図書館)の設立と奨励が行われております。1872年，文部省は東京湯島に書籍館を設立，また文部大輔田中不二麻呂は「公立書籍館ノ設置ヲ要ス」を『文部省第四年報』(1877年)に発表し，その設置を呼びかけています。そのため，1880年代前半までに高知書籍館，秋田書籍館など公私立図書館20余館が誕生しております。

一方，大学図書館の歴史は「大学」の創設とともにはじまります。ご承知のようにわが国最初の大学は明治10年（1877年）に創設された東京大学であります。従って大学図書館の歴史は東京大学とともに誕生したことになります。

本学の図書館の基礎は，明治44年に遡のぼります。明治18年に創設された現・北海高等学校の前身「北海英語学校」の２代目校長・浅羽　靖（あさばしずか）先生は，後の大正天皇が皇太子時代に本校巡幸を記念して設立した『北駕文庫』（ほくがぶんこ）がこれにあたります。

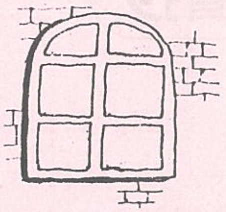
これら内容は明治及びそれ以前の和装本で神祇，宗教，理工，地理，兵法など33種の幅広いジャンルからなるものでその数36,000冊にも及ぶ膨大な資料を収集しているものです。

この北駕文庫の由来について，昨年発行いたしました本誌(図書館だよりNo.104～107)で本学工学部・早川和夫教授が連載記事で紹介しておりますのでご存知の方も多いことと思います。

北駕文庫がどのような方針のもとに収集されたかは知る由もありませんが，図書館の最も重要な機能の一つであります「資料の選択」，その成否はその後の図書館活動を左右するといわれる図書資料の選書システムを本館のケースでご紹介しておきましょう。

本館には現在36万冊の「本」があります。情報化社会といわれる今日,国内外で和洋書をはじめ雑誌,各種統計記録書などその形態,主題,使用言語や形式も様々な出版物が流通し我々を取り巻いております。ましてやその年間発刊部数はまさに天文学的であるとさえいわれております。しかし,これらは文字･絵･音･記号･映像によって記録されていることから,その特性は「読む･見る･聴く」とい

としょかんの窓から



う行為を通して繰り返し認識し観賞できるコミュニケーション・メディアということはできます。

さて，その膨大な出版物の山から何を選択するかということは，本学の設置目的と教育方針を抜きにしては案出されません。本学には経済学部，法学部，工学部の三学部６学科を開設しています。本学の目指すところは自由と在野の精神，北海道に脈々と流れる開拓者精神を建学の柱にしています

更に，働きながら意欲的に学ぶ青年のために経済学部と法学部に夜間開講の二部を開設，若い青年学徒ばかりか，もう一度学び直そうとしている一般社会人や家庭婦人層の希望にも応えております。また，教養部においては，人間性豊かな学生の育成を目標に多岐にわたる選択科目を開講し一般教育を展開しています。

本館はその高等教育機関のなかで構成員から発する高度な学習欲に対応できる記録媒体を保有し，知的要求に応えていかなければいけません。

教育課程の実施における各種資料の機能を踏まえ，本館資料の選択について考えると，無計画に，単に目にとまった印刷資料や視聴覚資料を購入すればよいというものでないことは当然のことであります。

日常営まれる教育研究活動や学生の人間形成に資する資料は，多種多様な資料のなかから厳選され，適切に分類されかつ体系づけられてはじめて大学図書館資料としての機能を果たすことができます。

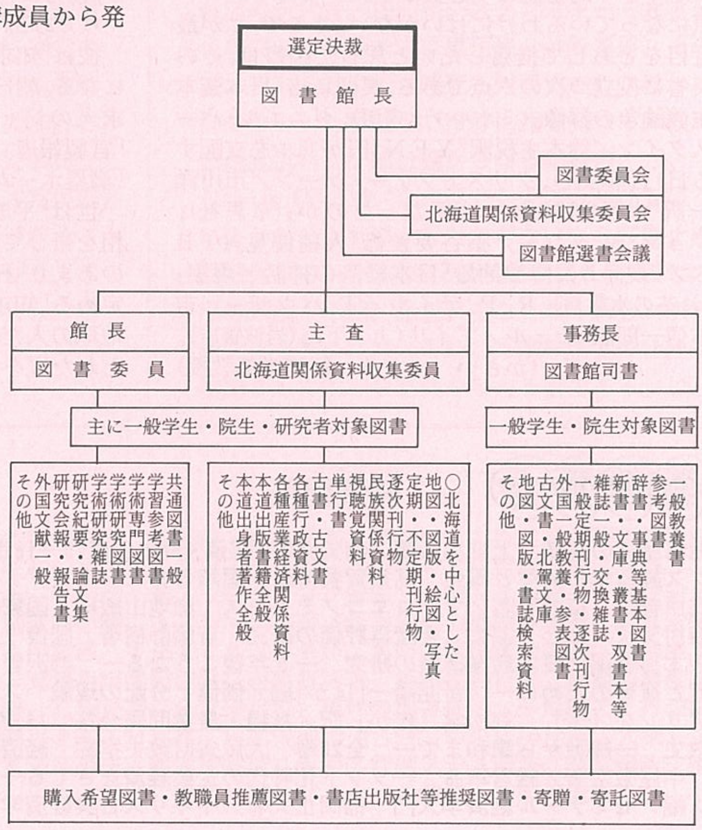
そこで本館では，各学部から選出された先生方で構成する図書委員会を中心に図書資料を収集しております。また，特殊資料選定の委員会のほか，従来の方法では充分にその機能が活されなかった学生の学習・教養・一般図書の収集に目を向け，これが整備充実のため館長のもとに選書会議を組織しております。

図書館の親機関である大学自体が，今日急激に変化をしております。大学自体が変化していくとき，それに直接奉仕すべき大学図書館と大学の関係も改めて問い直していく必要があると思います。

組織はその組織の目的を果たすのに最も効果的に組織であるとき，その効率は大きい筈です。

私達は，利用者の皆さんからより積極的なご意見を頂きながら新館にふさわしい『図書館建設』に取り組んでいく覚悟でおります。

（さいとう　かずお　図書館事務長）



新着抄

本気で読もう

地球規模の経済学のすすめ

河西　勝

衛星放送は，アメリカ合衆国とソ連邦による世界体制の崩壊に代わって，欧州統合の発展とともに，グリーンの思想と運動が相当に伸長しつつあることを報じた。またとどまるところをしらないリクルート汚染にたいする「ポピュリズム」の反撃と反原発運動の高揚は，わが国の繁栄がそれを支えた戦後40年のパックス・ラッソ・アメリカーナの損益決算のために人々の壮大な試みがすでに始まっていることを示している。これは，家庭，教育，医療，技術，経済，政治，そして人間の心の在り方を根本的に問うところまで進まざるをえない。特に，マルクス主義（経済学）とケインズ主義（経済学）は，封建制の戦争悪日本にたいして，近代化と民主化と平和の正義の戦いを導いたアカデミズムであるなどと，（その帰結が原発と核兵器の人類滅亡の危機であるところの米・ソ冷戦体制をささえるイデオロギー的粉飾にすぎなかったクセして，）いい気になっているわけにはいかない。そこで，私が最近目をとおして推薦したいと思った図書は，その反省に役立つ次の六点である。長岡新吉『日本資本主義論争の群像』（ミネルヴァ書房），ダニエル・バースタイン／鈴木主税訳『ＹＥＮ（円がドルを支配する日）』（草思社），クリストファー・ソーン／市川洋一訳『太平洋戦争とは何だったのか』（草思社），ジョン.W.ダワー／猿谷要監修『人種偏見』（ＴＢＳブリタニカ），降旗節雄『日本経済の神話と現実』（お茶の水書房），Ｒ．Ｐ．ゲイル／Ｔ．バウザー／吉本信一郎訳『チェルノブイリ（上・下）』（岩波書店）。

（かさい　まさる　経済学部教授）

政治の知求学のすすめ

『追求リクルート疑惑
― スクープ取材に燃えた121日』

５月下旬リクルート事件が発覚して頂度１年。１年前に記者団に問われて竹下首相が語った言葉「私が辞めますか」は今や現実になり，捜査は政界中枢に及んでいる。朝日新聞地方支局の報道が，国政を揺るがす一大疑獄事件へ発展しよとは予想もしなかった。それが今では「ロッキード事件」を上まわるものとなった。

朝日新聞横浜支局編**『追跡リクルート疑惑** ― スクープ取材に燃えた121日』を〝気楽〟に読もうと手にしたが，いつの間にか〝本気〟になって読んでしまった。読み終わったとき陽はとっぷりと暮れて，蛍光灯のあかりだけが目立っていた。この本を読み終わってすぐ，作家の井上ひさし氏の言葉を思い出した。「物書きはいそがしく働く人たちから自由を得て世の中の前線にあってその動向をつかみ，後方にいる人たちに情報を伝える役目を担った人たちである。その代償として米を受けとる。」と。

彼は「知求人」の役割について適切に語ったことになる。朝日新聞の地方記者の追跡はまさしく「知求人のジャーナリスト版」であろう。これまでの「官製報道」を打破した「手づくり報道」がついには「満塁ホームラン」を呼んだといえる。

世は「平成」という。しかし一転して「波乱」の様相を帯びて来た。我々は「利を求める人たち」がそのあまり「狂って」しまうような人達をしっかり見定める「知求人」の活躍に無関心ではいられない。地球の人たちが「むかしマルコス，今リクルート」とかたずを飲んで見守っている。　（Ｚ）

新着図書 ―― 経済関係

地場産業の展望　上野和彦著／**物質文明・経済・資本主義15―18世紀　Ⅱ-2**　Ｆ．ブローデル著／**マルクス経済学の解体と再生**　高須賀義博著／**国際合弁　―トヨタ・ＧＭジョイントベンチャーの軌跡―**　宍戸善一　草野厚著／**マクロエコノミックス**　瀬地山敏編／**国家と社会**　猪口孝著／**日本経済史　1**　梅村又次［ほか］編集／**資産再評価の研究**　斎藤静樹著／**国債　―発行・流通の現状と将来の課題―**　坂本導聰編／**日本産業構造の研究　―５年後こうなる―**　柳沢賢一郎著／**近代経済学の基礎知識　―補習と復習のために―**　新開陽一［ほか］編／**価値と分配の理論　スラッファ経済学入門**　Ｌ．マインウェアリング［著］　笠松学［ほか］訳／**食糧・農業問題全集　14-Ａ，14-Ｂ**　農山漁村文化協会／**昭和財政史　―終戦から講和まで―　全20巻**　大蔵省財政史室編／**経済思想**　種瀬　茂著／**経済人時代の終焉**　中屋敷宏著／**経営革命　―ソフト化時代の企業経済をさぐる―**　レック・コンサルティング・グループ編／**ゼミナール経済学入門**　福岡正夫著／**イギリス古典経済学の方法と課題**　桜井毅著

新着抄

気楽に読もう

ペレストロイカ（改革）のゆくえ～

「ソ連現代政治」下斗米伸夫　東大出版会
1987. 10 312.38 Sh54

ついにというか，やっとといったらいいのか？　美人コンテストまで行われるようになったソ連のペレストロイカ（改革）のゆくえを追うに最適・最新の本である。著者は，法政大学教授でマスコミにもよく登場する現代ソ連政治研究の第一人者である。内容は，1953年以降の現代ソ連政治史と現在進行中のペレストロイカ—政治・経済・文化の自由化，選挙制度改革，グラスノスチ（公開制）の実態とゆくえについてである。（S）

「花ことば」二題

北国もようやく花の季節。「エゾムラサキツツジ」から「ライラック」までの間は「花冷え」の季節でもあります。しかし「花ことば」の本をよむと心もあたたまる思いがします。

以前，カウンターで学生さんにたずねられたものを発注しましたが，そのうち2点が入って来ました。

『花ことば』（引田茂著，保育社）と外国の著者になる『花言葉』（グリーナ・ウェイ著，白泉社）。（K）

世界オカルト事典

サラ・リトヴィノフ編　荒俣宏監修

「オカルト」から，あなたなら何を連想しますか？　普通はホラー映画や心霊現象などが思い浮かぶでしょう。しかし，欧米では単に心霊現象・超常現象といった狭い定義ではなく，通常の研究や学問ではとうてい到達不可能な力や叡智を「オカルト」と定義しているようです。実際，この本は真面目に「オカルト」に取り組んだ事典なのです。監修は「帝都物語」の作者である荒俣宏氏ですが，氏は博物学や神秘学に造詣が深くこの分野で多数の著作があります。何よりも，この本を手にしたら最初に序文『オカルトへの誘い』に目を通すことです。「オカルト」そして，この事典をより良く理解できる筈です。（I）

死を見つめる心　—ガンとたたかった十年—

岸本　英夫　著
（講談社・1964年・13×19　230P　340円）

著者（1903～1964）は元・東京大学教授で宗教学の研究者。1953年，スタンフォード大学客員教授として滞米中に黒色腫の診断を得，その後，死去するまで常時死と対面していなければならなかった状況下で冷静に死を見つめ，毅然と生き抜いた3部11編からなる記録書。

「一掬（いっきく）の涙とともに，滅びていくにまかせるよりほかしかたがない」と鼓動止み形骸化していく『生命』の無常を語る言葉には，癌告知後十年間，忌避することなく新しい宗教的な生き方に猛然と対峙した宗教学者の壮絶な結語として大きな感銘を与える書である。（S）

法律 —— 新着図書

民法債権入門　上　石原善幸著／**刑事規制の限界　—医療・企業災害と刑法—**　大谷実著／**政治学概論**　山川雄巳著／**不動産六法　1，2　昭和63年度版**　建設省建設経済局不動産業課監修／**民法論集　2—6**　星野英一著／**犯罪論の諸問題　上**　平野龍一著／**ワークブック憲法　—質問と解答—**　池田政章　阿部照哉編　新版／**無過失損害賠償責任原因論　3**　石本雅男著／**企業犯罪の理論と現実**　板倉宏著／**現代法理論**　田中成明著／**立法技術入門講座　1—4**　ぎょうせい／**民事救済法理の展開**　中井美雄著／**東欧の政治と国際関係**　木戸蓊著／**実務表示登記総論**　有馬厚彦著／**相続税教科書　昭和63年度版**　石川敬一著／**国際政治経済の基礎知識**　高坂正堯　公文俊平編／**現代の地方自治　—財政力と行政能力—**　牛嶋正著／**所得税法規集　昭和63年8月1日現在**　日本税理士連合会　中央経済社編　大蔵省主税局税制第一課監修／**居住権論　—借家法序説—**　鈴木禄弥著　新版／**判例ノート憲法**　有倉遼吉　憲法判例研究会編　新版／**判例国際私法**　川上太郎著　新版／**憲法ゼミナール教材**　和田英夫編

ライブラリー　タイムトラベル

私たちにとってフランス革命とは

―フランス革命200周年記念に寄せて―

木津隆司

ルネ・クレール監督の原題「7月14日」（フランスでは革命記念日）の映画が「パリ祭」と訳されて日本に紹介されたのが，満州事変勃発後間もない，思想弾圧で息苦しい1932年。この映画の影響で，いつからかは分からないが，飲んで騒いで一夜を楽しむ日本人もいる「パリ祭」として日本人に親しまれたフランス革命記念日も，今年は200周年を迎える。だが「パリ祭」ではない「フランス革命」は私達日本人にどう映ってきたのであろうか。

フランス革命についてほとんど知らなかった日本人も，福沢諭吉の「西洋事情」などで，多少とも系統的な知識を持てるようにはなったものの，一般的に言って，明治初期の頃は，国家富強と言った見地からの観察が多く，「転覆」「破裂」「大騒乱」等の語で革命は表現され，君主専制から共和制に政体が変更されたことは知っていたが，「国民」の自主自由権の獲得とか，封建的支配階級に対する「平民」の階級闘争と言った評価はなされなかった。1874年に始まる自由民権運動とともに，ルソーやモンテスキューの思想も紹介され，フランス革命の政治的理念も次第に理解され始めたが，強力な明治の国家主義の高まりのなかで，民権運動も制圧され，フランス革命も，ギロチンやロベスピェールの恐怖政治の名と共に，ナポレオン皇帝の栄光をいや増すための，血生臭い影の部分に押しやられてしまった。

ところが太平洋戦争での敗戦の結果，天皇制が崩壊して，その重圧から解放された日本では，西ヨーロッパ的社会構造を近代の典型としてとらえ，それとの対比で日本の後進性を析出して，日本の民主化・近代化の指針を探ろうとする学問傾向が主流となり，フランス革命は，ブルジョワ階級が封建的社会体制やその上に乗る特権的な社会勢力を徹底的に崩壊させたという意味で，典型的な市民革命として理解され，フランス革命は私達の前に輝かしい栄光の姿を見せたのである。

だが，20世紀末の今日，資本主義の変質，ヨーロッパの凋落，アジア，その他地域の台頭という国際的な政治・経済の変化や，西ヨーロッパ近代社会的価値観の崩壊傾向の中で，フランス革命でのブルジョワ階級の革命的役割の再検討という学会動向によって，フランス革命の評価もまた変わりつつあるのである。

（きづ　りゅうじ　教養部教授）

新着図書 ―― 工学部

日本大百科全書　―Encyclopedia Nipponica 2001―1―23　小学館／**MUMPS 入門**　吉野秀夫著／**園芸植物大事典　1**　塚本洋太郎監修／**土・基礎・構造物の設計・施工上の失敗例と解決方法**　村上永一編／**これだけは知っておきたい模型　―建築設計の周辺―**　牧義雄著／**日本の技術100年　2　―ビジュアル版―**　向坊隆［ほか］編／**数理論理学とタイプ理論　証明による真理へ**　Peter B. Andrews［著］　小川原倫子訳／**ＯＳ雑学**　前田英明著　石田晴久　土居範久編／**建築構造計算資料集　1―8**　中川淳編著／**構造力学解法の基礎**　岡島孝雄著／**航空年鑑　1988**　日本航空協会／**はじめてのRUNC　―Personal Computer―**　川崎盛美著／**電気通信と人工知能**　電気通信技術審議会編／**図解木工の継手と仕口**　鳥海義之助著　増補版／**建築構造力学入門**　岡島孝雄著／**森と人間の文化史**　只木良也著／**木材の組織**　島地謙［ほか］著／**理科年表**　国立天文台編／**鉄骨鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説**　日本建築学会編／**ＯＳ２入門**　川井健一［ほか］共著

道産子 読本

――ほっかいどうの本抄

北海道関係図書の収集を始めて２年が経過しました。（図書館だより第10巻３号，通巻107号参照）。今後，テーマ別にいくつかの図書を紹介していきます。利用の参考にして下さい。

1．さっぽろを地図で紀行する

まず，20万分１，2.5万分１地形図で札幌を見てみましょう。市街地を二分する形で流れる豊平川とそれによって形成された札幌扇状地，西方に連なる手稲山を始めとした高い山地，南方の台地等々，結構変化に富んだ地形をしていることがわかると思います。ウォッチング札幌／札幌地理サークル編はこのような地形の解説を始めとして開拓期から現在の札幌の歴史的背景，立地環境を図を使い説明しています。歴史という点では，札幌歴史地図（さっぽろ文庫別冊）／札幌市教育委員会編も，その時々の地図によって札幌の歩みを知ることの出来る資料です。ちょっと変わった観点で札幌の東西南北の果てはどこだ？　と探訪してみたのがサッポロこぼれある記／堀淳一です。これによると北端は、札沼線釜谷臼駅北方の茨戸川と石狩川の分流点。東端は，もみじ台団地の東南端，札幌市と江別市と広島町との境。西端は余市岳南方，南端はフレ岳西方のそれぞれ標高1000メートルの尾根の上だということです。地図を眺めるだけではなく，これからの季節，実際に札幌を歩いてみたい人には，イラストガイド札幌周辺さわやかハイク／ハイキングクラブみどりの風編，自然観察路ガイド／工藤父母道監修などをお薦めします。また，札幌青春街図／プロジェクトハウス亜璃西編著をはじめとする札幌タウンガイドを参考にするのも面白いでしょう。

今回は札幌に絞ってその一部を紹介しました。これ以外にも札幌を含む北海道全土の地図，紀行集，観光ガイドは各種揃えていますので，興味のある方は，是非利用して下さい。　（Ｉ）

北海道関係――新着図書

Atlas Guide 地図の本　4　北海道／Atlas Guide 地図の本　61　北海道　―目で見て歩いて楽しもう―　改訂版／Atlas Guide 地図の本　91，92　マップちゃんの札幌・小樽　―食べたり買ったり遊んだり―　マップちゃんの北海道　―食べたり買ったり遊んだり―／［日本］交通公社の新日本ガイド　1　北海道／［日本交通公社］のドライブガイド　10　北海道宿泊＆レジャーガイド／［日本交通公社］のポケットガイド　1，2　1．北海道　2．阿寒・知床・利尻／［日本交通公社］のポケットガイド　42　札幌・小樽　改訂11版／［日本］交通公社のエースガイド　1　北海道／エリアガイド　1，2　北海道　―歩く―見る―食べる―　札幌　道東・道北　―歩く―見る―食べる／アルペンガイド　15　北海道の山／Ｕガイド　2　札幌・小樽　―支笏・洞爺・登別・ニセコ・積丹―／ブルーガイドパック　1―3　1．北海道　2．阿寒・網走・利尻　3．札幌・小樽・函館／Blue Guide Act 1　北海道　―ドライブに列車の旅に宿・味・遊びの情報満載―／ヤマケイガイド　北海道

書遊録

大学図書館だからコミックがやさしい

おすすめ COMIC

本学図書館にもコミックがあることを，君は知っていますか？

786.08 O92 ピーパルじいさんのアウトドア教本1—4 Be-Pal編集部編　小学館1988／キャンプ／フィッシングetc.／332.1 I79 マンガ日本経済入門　1，2　石ノ森章太郎　日本経済新聞社　昭62／332.1 I79 マンガ日本経済事典　日経　昭62／貿易摩擦／税制改革／円・ドルetc.／331.39 N14 八面六ぴのガルブレイス　ナガイ・ケイ　富士書房　昭60／個人史／業積／913.36 Mu56 マンガ源氏物語上・下　清水好子　平凡社　昭63／211 I76 まんが北海道の歴史上・下　榎本守恵　みやま書房　昭62／726.1 Ta73 滝田ゆうの私版昭和迷走絵図　東京堂出版　昭62／726 Ki42 近代漫画Ⅰ～Ⅵ　筑摩書房　昭61　Ⅰ．幕末維新期の漫画　Ⅱ．自由民権期の漫画etc.／726 Sh49 嘲笑絵世界への旅～諷刺の漫画館　清水勲　中央公論社　昭57／726 H77 中国漫画史話　畢克官　筑摩書房　昭59／726 O51 ソ連は笑う～ソ連漫画傑作集　エンタプライズ　昭60／081 J52 人生読本　マンガ　河出書房新社　昭62／戦後マンガ史ノート　石子順造　紀伊国屋新書A—74／etc.

図書館展示会報告

平成1年1月～現在までの図書館展示会の実施経過を報告いたします。

平成1．16～3．31「スニーカー気分で地球を歩こう展～国際情報いろいろ～」(てんじ企画No.3)

4．1～「For Biginners 僕的快適大学生活術展 TRENDY・CAMPUS・LIFE」(てんじ企画No.4) 6月末まで展示予定です。ぜひ，ご覧ください。

展示ポスター

スニーカー気分で地球を歩こう展
～国際情報いろいろ～

図書館展示企画　No.3　　於；図書館1F

世界の中の日本／国際交流資料
北海道／北方圏交流
本学の国際交流／カナダ（レスブリッジ大）
中国、ニュージーランド
学術交流／大学紀要&要覧
行動する地球人のために／海外情報事典
私を外国に連れてって！／各国情報誌
スニーカー気分でタラップを井／海外旅行Books
PeraPeraDas／各国語Text&Tape
スーパーキャリア・プランニング／留学&国際就職
外からみた日本／外国出版～Japanology、各国雑誌
日本特集、道内出版～各国語版

For Biginners
僕的快適大学生活術展

TRENDY・CAMPUS・LIFE

とじょかん展示企画　No.4
→図書館1F

今日からの大学生活　学生生活ガイドBooks
学園大の事情　学内出版
大学周辺を知る　住宅地図、エリアマップ
下宿を探す　生活情報誌／AP・MA、Town、アルバイト誌
自炊のすすめ　料理Books
自分らしさで決める　Goods, style 誌
おもしろAV生活　音楽、映画、Video 誌
予算1万円の旅　旅行案内、Out Door誌
「優」答案の書き方　答案、論文の作成術Books
青春と読書生活　青春・読書・人生論Books.
資格試験　受験案内
就職　就職情報誌
大学生が感動した本No.1　夏目漱石『こころ』

新着図書 —— 教養

哲学入門　山崎正一著／**倫理学入門　—現代に生きる人間の哲学—**　将積茂　岩淵剛編／**裸足の革命　—自立をめざす第三世界の農民たち—**　B.シュナイダー著　田草川弘訳／**ふざけるな！校則　—負けるな！全国の中学・高校生へ！パート1—**　はやしたけし著／**超電導開発レース　—21世紀の巨大市場を制するのはだれか—**　鈴木明著／**ことわざの泉　日・英独仏中対照諺辞典**　高嶋泰二編著　増補版／**メモ式ドイツ語早わかり**　在間進著／**日本型ハイテク社会と未来**　日本未来学会編／**出雲の神々　—神話と氏族—**　上田正昭編／**コンピュータ新人類の研究**　野田正彰著／**ヨーロッパを考える**　E.モラン著　林勝一訳／**座談会大正文学史**　柳田　泉［ほか］編／**新聞が衰退するとき**　黒田清著／**子どもの人権と学校　—父母・市民・教師・弁護士たちの記録—**　子どもの人権と体罰研究会　体罰と管理教育を考える会編／**中世賤民の宇宙　—ヨーロッパ原点への旅—**　阿部謹也著／**未来の先取り**　S.ミード著　湯沢章伍訳／**東南アジアの現在　開発のなかの人びと**　小泉充雄著

ことの葉グルメ記
——外国語こぼれ話——

定冠詞の恐ろしさ

大　江　敏　美

エル・ニーニョとかラ・ニーニャとかいう言葉を聞いたことはありませんか？　昨年来の異常気象の原因は，CO_2やメタンガスによる温室効果という説がありますし，又東太平洋赤道海域の水温変動という説など色々とあります。この海域の水温上昇が起こるとすれば，それは12月です。それで，赤ん坊キリストの生誕にちなんで the baby boy （スペイン語で el niño）の現象というわけです。去年の場合ですが，水温が低下したので，そのときは the baby girl （la niña）といいます。このような水温の変動する現象は時には１年間以上も継続し，地球全体に異常気象をもたらすといわれています。

名詞に the とか el，la などの定冠詞が付くと，唯一，絶対というような意見をもつようになることがあります。上記とは別の例ですが，サルバドル(＝サルベーダー，救済者）に el をつけますと，キリストを意味します。この３月，中央アメリカで極右政党のクリスチャニ候補を大統領に選んだ共和国が，El Salvadorです。カトリック教徒たちが自分達の国をキリストと名付けたのです。この国の首都は，San Salvador，聖キリストです。

アラビア語では，アル・コール，アル・ジェブラ（代数学)，アル・ケミ（錬金術)，アル・クルアーン（イスラム経典コーラン）のアル（右から左に JI と書く）が定冠詞であります。アルラーという彼らの絶対神の名前から分かるように，アルは神聖な起源をもっています。(同じように the，this，that は神 theo に由来します)。古代オリエント及びギリシャの文化遺産は、イスラム世界が受け継ぎ，洗練し，その結晶は，スペインなどを経由し，イタリアに入ってルネッサンスとして開花し，ヨーロッパ全体，更に日本にも広がり，諸君の学ぶ教養科目の出自ともなっています。

このイスラム信仰のアラブ世界の人々と，ユダイズム信仰のイスラエルの人々との間には1967年の第三次中東戦争以後も，たったひとことの定冠詞をめぐって深刻な争いが続いています。

この戦争の後始末をするため，国連安全保障理事会は決議242号を採択しました。それはアラブ側にはイスラエルの生存権を認めることを求め，又イスラエル側には占領地からの撤退を求めています。この決議文では，占領地は territories occupied となっています。the territories occupied であれば，全占領地となります。the がないため係争地域の占領が続いているのです。

（おおえ　としみ　教養部教授）

雑誌 —— 新着図書

アイヌ民族博物館だより　1―15：1982／6―1988／1＋／**青山学院大文学部紀要**　1（No.32）―12，14―16，18―30（1988）＋／**Anticle**　1―34：1986／4―1989／1＋／**中京大学経済学編双**　1巻1号：1988／12月＋／**［福島大学］行政社会編集**　1巻1・2号：1988／10＋／**北海道鐵道部報**　1―278：明治33年―明治38年3月（明治期鉄道史資料1集（13―16）の中　日本評論社，昭56年刊）／**北海道鐵道部年報**　1―2：明治29／31年度―昭32年度；明治34年度―明治36年度（明治期鐵道史資料　1集（17）の中，日本洋編社，昭56年）／**神奈川大学大学院　法学研究論集**　1：1989＋／**北の山脈**　札幌　16―40：1974―1980／**労働運動概況**　（内務省編）　大正11―大13年［復刻；明治文献，昭46］／**労働運動年報**　（厚生省労働局編）　大正14―昭12年［復刻：明治文献，昭46―47］／**［攝南大学］　攝南法学**　1：1989／2月＋／**鐵道局年報**　明治19年度―明40年度　（明治前期鉄道史資料　1集（1―12）の中日本経済洋編社，昭55年刊　野田正穂他編）

確信の風

ライブラリズムは前進する

「風にそよぐ仮説」から１年

早いもので新館オープンから３年目。去年の統計が出ましたのでその中からいくつかを拾ってみました。

「貸出冊数」,「閲覧利用冊数」ともに増加しました。これは「風にそよぐ仮説」の猛省の上に立って，特に「法学」「経済学」の専門書の入門･概論等のベーシックな本を集中的に収書－配架した結果のあらわれとみられます。

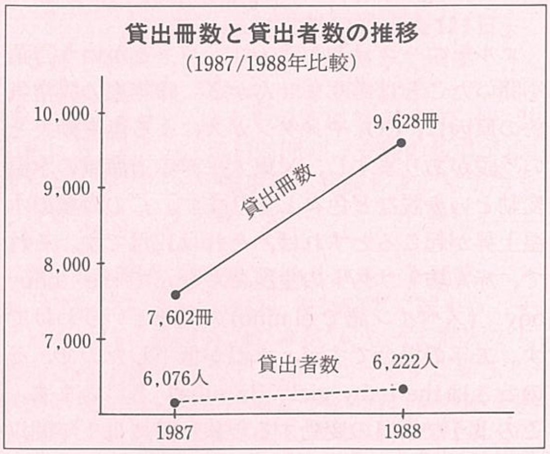
「貸出」「閲覧冊数」ともに伸びる

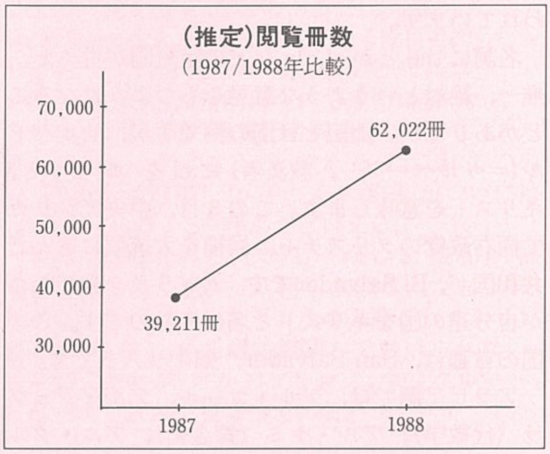
貸出冊数は去年の7,602冊に対して今年は9,628冊で2,026冊の増（26.7％増)。

他方，貸出人数は去年の6,076人に対して，今年は6,222人と146人の微増。

又，返本台に集っている「推定閲覧冊数」は去年の39,211冊に対して今年は62,022冊と22,811冊の増加でした。率では58.2％増。

「閲覧利用」の場合は，とりわけ試験期に集中的に行われますが，この２月の期末試験期だけをとってみると，２階（専門図書フロアー）の伸びは３階（教養関係図書フロアー）の伸びが去年とかわらないのに対して72％増の12,427冊と大幅に伸びています。





としょかん用語集（1）

「黄いろいカード」と「青い数字」

Ⓣ帯出証――黄いろいカード

すでに１年生にはガイダンスで配布しましたのでご存じでしょう。これがあれば10日間２冊借りることが出来ます。はじめての人はこのカードを発行してもらって下さい。

「Ｔ」の項二題

Ⓣ登録番号――青いナンバー

貸出のときに書き入れる本の番号で，本を開いた扉のところに「蔵書印」がありますが，その中にある「青いナンバー」がそれです。

しばしばこれを「分類記号」とまちがえる人がいますが，こちらの方は本の「背表紙」にあり，２段になっています。

カウンター対話

3月期末試験期の「閲覧利用」				
	1987(冊)	1988(冊)	増　減	%
2 F (専門図書)	7,214	12,427	△5,213	72.0
3 F (教養図書)	4,419	4,676	△257	6.0
合計	11,633	17,103	△5,542	47.0

「不明図書率」の減少

こうした傾向はカウンターに問いあわせられる本の「請求利用」にもあらわれています。

「請求」された図書又は雑誌の総数は934点でしたが，そのうち「不明」として処理された結果は69冊と去年にくらべて実数で33冊減，％で32％減少しました。

しかし，他方で「貸出中」や「欠本」の本は去年より増加しており，この点ではまだまだ収書の課題が残されているといえます。

こうした「不明」「貸出」「欠本」等の本がある場合は「とくそく」や「他館への依頼」などで処理されますが，なるべくその場で発注するような処理がなされます。

ライブラリズムの一層の前進のために

以上のような諸傾向の積極面と共にまだまだ改善されなければならない面があります。

とりわけ「収書の計画化」は利用者の中心をなす学生さんの要求に応える核となる課題といえます。新刊の基礎的な専門書の収書と共に，欠本となっているいわば「ゼロ本地帯」の解消のための収書もあります。同時にこれまで１冊単位で収書されて来た慣行を改めて利用に応じて「複本化」するという課題もあります。

ライブラリズムとは学生さんの要求に日々応えるためのプロセスといえます。そのためには「選書データベース」の作成による「科学的な利用管理」が尽きることなき課題として残されています。

請求票調査

	1987	1988	増減
総　数	700	934	234
A　有	447	688	241
本	176	125	−51
雑誌	271	563	292
B　不明	102	69	−33
本	102	68	−32
雑誌	−	1	1
貸出	126	131	5
本	121	125	4
雑誌	5	6	1
欠本	22	46	24
本	12	25	13
雑誌	10	21	11

ミクロコスモスの眼

真の「知求人」手塚治虫

ＮＨＫスペシャル「いのち」は手塚治虫氏のおいたちを息子さんの目を通してたどった番組。

森で蝶を追った少年が「マンガ家」になった。やがて「アトム」を綴り，「火の鳥」を経て「ネオファウスト」へと続く。

その底流にあるのは生けるものへの愛とそれを軽んずるものへの警告の書だ。

40年前に「アトム」が「危篤の母」に会うために車が猛然とスピードをあげて走りゆく道にさえぎられてしまう場面があったのを想い出す。今文明はこのことを再現しているのではないか。

地球の危機と人間の危機を訴えた手塚治虫氏の中に今流の「利狂人」に対立する真の「知求人」をみる思いがするのである。

楽天星

宇宙を感じながら★★★第1回
「不思議の国のトムキンス」ショック

岡崎敦男

今から考えると不思議な気がするが，連日昼夜の規則正しい交替を見ていたにもかかわらず，僕にはそのことによって宇宙を意識したという記憶がない。保育園時代，世界は１次元の短いひもにすぎなかった。ひもの長さはたった１km。その両端に自分の家と保育園があった。

五月の星座
「おとめ座の女神」
（Virgo）

僕の世界に初めて時間の概念が入ってきたのは小学校低学年の頃だったと思う。どこかの洞窟に大昔の壁画が残っているという話に触発され，ほんの一時期，家の前の地面に文字や模様を木の枝で彫りつけていたことがある。自分の書いたものを数千年・数万年後に誰かが発見してくれるかもしれない，その考えは僕には大変魅力的に感じられた。この時「遠い過去から遠い未来へと流れる時間」なる概念が内にあったことは確かである。空間方向に非常に小さく時間方向に無限に長い４次元円柱として，僕の宇宙は始まった。

この単純な宇宙観はジョージ・ガモフ著「**不思議の国のトムキンス**」（白楊社）により大きな変革を見ることになる。中学３年の時のこの本との出会いが，その後の僕の興味ひいては人生を宇宙に向けた。

「不思議の国のトムキンス」は，現代科学に興味を持つ銀行員のトムキンス氏が，老物理学教授の助けを得て，夢や現実の世界で（特殊相対性理論・一般相対性理論・量子力学についての）様々な経験をしていく物語である。老教授の講演の部分は非常に難しいが，トムキンス氏の経験の部分はわかりやすく書かれている。僕はこの本を父親の本棚に見つけたのだが，昔の漢字が使われていて読みづらい古い本をどうして読む気になったのかはよく解らない。読み始めるや否や，僕はこの本に夢中になった。本の中のごく一部しか理解できなかったが，それでも霞の向こうの広大な世界を垣間見たような気がしてわくわくしたものだ。

この本からいろいろなことを学んだ。速く動くと周りの景色が薄っぺらになり，自分の時計はあまり進まない。光より遅い速度をいくら足しあわせても光の速度を超えることはできない。光は，どのように動いている物から出た場合にもいつも同じ速度で進む。空間に曲率があり，曲った空間では直線も曲っている。宇宙が膨張したり収縮したりする可能性がある。量子効果の大きな国では物の形がはっきりとは分からない。などなど。

大学に入ってからは，ランダウ・ディラック・アインシュタイン等の巨人たちが僕ら物理系の学生にとっての英雄だった。特に，ランダウの教科書に見られるものすごい洞察力は僕らを魅了したものだ。（物理学・天文学を学ぶ上で）ガモフの影響を受けたことは一度もない。それでも，本当の世界へと向かう方向性を中学生の僕に与えてくれた点で，ビッグバン宇宙論の創始者ガモフは特別な存在である。（おかざき　あつお　教養部講師）

編集後記

○新図書館が開館してから丸２年が過ぎた。開館当初は館員の側にも戸惑いがあったが，現在ではすっかり馴染んでしまっている。何よりも学生が各自の利用目的でこの図書館を大いに活用していることが，利用者数の急増という結果に現れている。○図書館だよりは，創刊10周年という区切りを越え，今回より11年目に入る。誌面も一新した。○10年後は1999年である。その時この図書館はどのように変わっているのだろうか？

北海学園大学附属図書館報
図書館だより
Vol.11No.1.（通巻109号）

本　　館　〒062 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号
工学部分室　〒064 札幌市中央区南26条西11丁目
☎(011)841－1161
本館内線　270～275・279
工学部内線　813・814